

あいさつ

青木村

おはようございます。

本日、令和5年第2回青木村議会6月定例会を招集いたしましたところ、全議員の皆様方にご出席をいただき、また日頃より村政の運営にご理解とご支援をいただき感謝申し上げます。

私の今期の村長任期は5月8日で2年が過ぎ、早くも折り返し点となりました。振り返りますと、コロナ禍対策に追われた2年間でしたが、その体験から得た課題を検証し、今後活かして、「コロナを正しく恐れる」の姿勢で村行政に取り組んでまいります。

また、コロナに加えてロシア・ウクライナ戦争、地球温暖化、子育て、人口減少、社会保障、物価高など国内外の問題が山積し、日本社会全体が大きな変化の渦中にあることを意識しつつ、村長職の後半の2年間で務めて参ります。

令和2年2月から3年以上にわたり、村民の皆さまの命と健康を脅かし、生活と経済に大きな影を落としてきた新型コロナウイルス感染症に対する対策方針が、3月以降に大きな転換点を迎えました。感染対策の大きな柱の一つであったマスクの着用が、3月13日から個人の判断に委ねられることになったことに加え、5月8日からは新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが、2類から季節性インフルエンザと同じ5類に引き下げられました。

村民の皆さまの感染対策についてのご理解とご協力により、令和5年2月末までの8回にわたる感染拡大の波を乗り越えることができたものと思います。ここに、改めて感謝申し上げます。

今後、感染対策については、個人・事業者が判断することが基本となるとともに、今まで、新型コロナウイルス感染対策を理由として行政が、規制・制限してきた個人の行動等も、今後は、自ら主体的に考えて行動していくことが求められるようになりました。村としては、今後の感染対策等については個人の判断を基本としつつも、その判断に資するよう、国・県等からの情報の提供を行ってまいります。また、感染の再拡大を抑えるため、引続きワクチン接種を行ってまいります。

65歳以上の方及び基礎疾患を有する方を対象に5月に実施した集団接種は、対象者の約75%の方に行うことができました。引き続き、9月以降に実施予定のワクチン接種についても必要な準備を進めてまいります。

参 照

青木村のコロナワクチン接種率

【村内の延べ接種人数：16,183人】

区分	1回目	2回目	3回目	4回目(※1)	オミクロン株 対応ワクチン	R5春接種(※2)
青木村	84.7%	84.6%	79.0%	84.1%	65.2%	75.0%
上田圏域	82.5%	82.2%	71.5%	75.1%	51.4%	—
長野県	82.7%	82.4%	71.1%	75.0%	52.0%	—

※1 4回目は、60歳以上の対象者に対する接種率となっている。

※2 R5春接種は、65歳以上の対象者に対する接種率となっている。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う村内小中学校・保育園閉鎖等の状況

(令和元年度～令和4年度)

	R元	R2		R3	R4		
	学校閉鎖	学校閉鎖	学級閉鎖		分散登校	閉鎖等	学校閉鎖
小学校	1回 (12日)	2回 (計31日)	1回 (2日)	1回 (10日)	無し	1回 (5日)	2回 (計4日)
中学校	1回 (11日)	2回 (計31日)		1回 (計10日)	無し		2回 (計4日)

	R元	R2		R3		R4	
	閉鎖等	園閉鎖	自主登園	クラス閉鎖	延長・早朝停止	学級閉鎖	延長・早朝停止
保育園	無し	1回 (9日)	2回	1回 (1日)	1回	4回 (計13日)	2回

新型コロナウイルス感染症が5類になったのを区切りに、これまでの村のコロナ対策について総括いたします。

まず、国の地方創生臨時交付金を活用して実施してきましたコロナ対策事業であります。令和2年度から令和5年度の4年間、累計で、59事業、事業費にして5億6千万円を超える大きな予算を投入し、村の方針として、コロナ禍で困っている方へできるだけ早く平等に、そしてきめ細やかにという方針で実施してまいりました。

当初は、感染予防や安全対策に重きをおいて、年度を追うごとに、コロナで影響を受けている事業者、家計への支援へとシフトしてまいりました。今年、令和5年度も引き続き、子育て世帯の給食費の軽減事業、3回目の生活応援券の配布をしております。引き続きコロナの影響は長期にわたり残るものと予想されますが、国で

は、地方創生臨時交付金の縮小や廃止が検討されています。これまで、地方創生臨時交付金で実施してきた諸事業について、今後どのような対応をしていくのか状況を見ながら判断をまいります。

新型コロナウイルス感染症は、我々の村民生活に大きな影響を与えました。コロナに翻弄され、対応に追われてと、その繰り返しの3年半だったと思います。これからも必要な対応をしつつ、コロナ対策で得た教訓をしっかりと活かした村政運営を進めてまいります。

村の事業、夏まつりや運動会、地区のイベントの実施など、コロナ以前の状態に戻すにはそれなりの大きなエネルギーを必要としますが、たとえその形が少し変わったとしても、村を興し、地域の元気を取り戻すためには必要不可欠なことと思ひ、関係者の協力をお願いしてまいります。

参 照

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業費（4か年合計）

令和2年度～5年度

対策区分	経費(円)	割合(%)	事業概要
安全対策	123,233,993	22	診療所改築、発熱外来、検査キット、公共施設の安全対策
商工業支援	61,482,600	11	商工業者への支援金
消費喚起	50,425,840	9	地域消費券、道の駅共通券などの発行
農業支援	27,708,906	5	農業者への給付金、支援金
子ども	171,144,882	30	保・小・中学校の給食費軽減、未満児保育室の増築
高齢者・障害者	24,280,898	4	予防対策のための地域消費券配布、支援金
ひとり親	4,420,000	1	ひとり親家庭への給付金
全村民	68,199,664	12	生活応援券の配布3回
その他	34,514,960	6	公共交通への支援、行政のデジタル化
合 計	565,411,743	100	

年度別事業費

年度	経費(円)
令和2年度	245,181,765
令和3年度	97,018,000
令和4年度	169,228,978
令和5年度	53,983,000
合 計	565,411,743

主な成果

地域消費券の発行額	320,000 千円
保・小・中学校給食費軽減額	102,210 千円 (延べ 1,720 人へ)
生活応援券配布額	68,199 千円 (延べ 13,920 人へ)

過日、厚生労働省から発表された令和4年の日本人の人口動態統計によりますと、全国の合計特殊出生率は7年連続で低下し、過去最低の1.26となりました。婚姻数は微増しましたが、初婚の平均年齢は、夫が31.1歳、妻が29.7歳、第一子を出産した時点での女性の平均年齢は30.9歳と過去最高水準で、晩婚化・晩産化も進んでいます。

長野県では婚姻数が減少しており、合計特殊出生率も前年より低い1.43で、低下に歯止めがかからない状況が続いています。一方、青木村の昨年度の合計特殊出生率は1.90でした。

松野官房長官は「少子化の進行は危機的な状況で、『静かなる有事』として認識すべきものであり、子ども・子育て政策は社会機能の維持にも関わる先送りできない課題だ」と指摘しました。新型コロナウイルス禍を経た将来不安に加え、物価高、エネルギー費の高騰が家計を直撃し、先行きの不透明感が出生数や婚姻数にも影響しており、若年層の経済不安を取り除くための国における対策が急務となっています。

次に、村政の重点事業について申し上げます。

まず、「国道143号青木峠バイパス事業」につきまして、長野県上田建設事務所では、令和6年度からの坑口の工事着工を目標にしているとのことです。

本年2月21日に開催しました「地権者と地元向け説明会」の後に、住民の皆さんから書面でお寄せいただいた要望事項等の意見集約内容を検討しており、トンネル坑口周辺の詳細設計に反映したうえで、これを住民の皆さんに説明する予定とのことです。

国からの十分な予算付けを受けまして、令和5年度においては、環境調査、道路詳細設計、用地測量、物件調査、用地取得、物件補償等の業務を予定しているとお聞きしております。

村としては、一日も早く着工し早期に完成しますよう、関係機関へ要望活動を行なうと共に、地権者や地元のご理解を得られますよう、引き続き県と協力してまいります。

次に、今後の情報通信サービスシステムの方針について申し上げます。

現在村民の皆さんに、村からのお知らせや緊急時の災害情報などを発信しております情報告知端末は、平成23年に供用を開始してから12年が経過いたしました。現行機種種の製造は既に終了し、交換ができないなどの課題がありますことから、新たなシステムの検討時期に入っております。

国が進めているDXやデジタル化の流れを考慮するとともに、青木村のような高齢

化が進む小さな自治体は、誰一人取り残さない、人に優しい情報伝達手段の構築が必要であります。今後は、現在のサービスを維持するとともに、時代にあったサービスを追加する中で、高齢者を中心に現システムの満足度や課題を整理し、議会の皆さんと相談する中で、次のシステムへの移行準備を進めていきたいと考えております。

6月2日、株式会社竹内製作所の主催により、竹内製作所青木工場の竣工式が挙行されました。

敷地面積約5ha、延床面積約3.1ha（役場庁舎の約10倍）という近隣には無い大規模工場で、私はこの真新しくまばゆいばかりの工場を眺めながら、念願であった選挙公約の大企業誘致がこのように素晴らしいかたちで実現しましたことに、万感の思いを抱き式典に臨ませていただきました。

村にとりましてこの工場は、村産業の拡大、地域経済の底上げ、雇用や税収の増、ひいては移住・関係・交流人口の増による村の活性化につながる世紀のプロジェクトです。令和元年に工場建設の打診をいただいてから4年間で工場が完成しましたのも、村議会、地権者、周辺住民の皆さまのご支援・ご協力のおかげと感謝申し上げます。

竹内社長のご挨拶の中で、村や地権者、地元区の皆さんへ工事中の協力に対するお礼の言葉が述べられました。また、「メイド・イン青木」の竹内製品が、ヨーロッパやアメリカで活躍するとのお話があり、大変嬉しく思った次第です。

6月3日、『青木の森林（もり）は長沼の堤防』をテーマに、「千曲川上・下流住民による共同植樹会」を修那羅峠付近で実施しました。

近年、千曲川、信濃川流域が甚大な被害を受けた台風19号（東日本台風）や熊本豪雨など、記録的な豪雨災害が毎年起きており、今後も増えることが予想されます。堤防やダムなどこれまでの水害対策には限界があることから、国では、流域全員が協働して流域全体で行う持続可能な「流域治水」へと考えを転換させてきました。長野県でも「信濃川水系流域治水協議会」を設置し、対策に取り組んでいるところ です。

台風19号以降、青木村と村内ボランティア団体は、被災地である長野市長沼地区を訪問し、キッチンカーによる特産タチアカネ蕎麦のふるまいを行うなど、交流を重ねてまいりました。そのようなご縁もあり、この度山林が持つ保水能力を高めるための共同植樹会を企画いたしました。

今回の植樹が地域の防災、住民の安全に少しでもつながりますようにと願いながら、松くい虫抵抗性アカマツ200本、しだれ桜10本を植栽しました。

今議会で議決をお願いしております五島慶太翁の名誉村民への推挙についてありますが、翁は東急グループの礎を築いた実業家であるとともに、教育者として次世代の育成に力を注ぐなど、その功績は極めて顕著であります。

村では東急グループ各社のご支援をいただきながら、五島慶太未来創造館の建設をはじめとした翁の顕彰活動を進め、村と東急グループとの繋がりは一層深まり、村の活性化にも大いに寄与しております。

そこで、村としましても五島慶太翁を名誉村民として推挙いたしたくお願いするものです。

今年は松くい虫の被害木が多く目立っております。特に、当郷から村松、入田沢地区の南側に多いことから、既に730 m³の伐倒駆除作業の契約を行い、既に作業に入っております。

景気が気になるころですが、5月25日(木)付の内閣府「月例経済報告」によりますと、『景気は、緩やかに回復している』とのことであります。

さて、3月定例会閉会后本日までの主な行事についてご報告いたします。

4月3日(月)に「青木村保育園入園式」、4月6日(木)には「青木小学校入学式」と「青木中学校入学式」が挙行されました。

コロナ対策を行いながらの開催となりましたが、アットホームな雰囲気の中で、子ども達の健やかな成長を願いました。

4月7日(金)、猟友会館にて、猟友会の22名の皆さんへの「青木村鳥獣被害対策実施隊任命式」を行いました。

農作物の被害を減らすため、銃器や罠により有害鳥獣の駆除を実施していただきます。

4月19日(水)、初めてとなります「青木村戦没者追悼式」を挙行しました。

遺族会、消防団など関係者が参列し、戦争で亡くなられた方、消防団活動で殉職された方を悼み、平和や安全への誓いを新たにしました。

5月3日は、「戀渡神社例大祭」でした。

艶っぽい名前のこの神社は、奈良時代、都から東北地方へ続く幹線道路「東山道」の沿線にあります。入奈良本地区の氏神様で、宮司の話では「近隣にない立派なお

社」とのことで、地区の皆さんにしっかり守っていただいています。

少し前まではこの時期が桜満開とのことでしたが、今年は特に暖かい日が続き、既に葉桜でした。その名から婚活御守りを頒布しており、ご利益のあった方もいらっしゃるとのことです。村の成人式では、JA信州うえださんにスポンサーとなっただき、良縁を願いながら、新成人の皆さんにお配りしています。

同じく5月3日、村松中地区主催で神楽保存会の皆様により、「八十八夜祭」として神楽の奉納がありました。

150余年続く伝統行事で、村の無形文化財にもなっております。コロナ禍で4年ぶりの開催でしたが、当日は地区のたくさんの皆さんが見学に来られ、笛・太鼓の鳴り物衆と共に、初舞台の獅子の舞い手に大きな拍手を送っていました。

5月23日(火)開催の「夏まつり実行委員会」で、新型コロナウイルス感染症が5類になったことから、4年ぶりに夏まつりを実施することが決定しました。

今までと違い、交通安全対策という観点から国道でのパフォーマンスは取り止めて、総合グラウンドで一堂に会し、村民の皆さんによる踊りや神輿、アトラクションで盛り上げることとなりました。

また、平和な生活や悪疫退散への願いを込めて、花火大会も実施します。

さて、本議会の議案についてであります。報告事項3件、議案6件、陳情1件であります。

令和4年度3月専決補正予算（令和5年3月31日付専決処分）の概要について

一般会計 第6号専決補正予算は、歳入歳出それぞれ9,730万3千円を減額し、総額を32億112万9千円としてお願いするものです。

厳しい財政運営の中ではございましたが、当初予算で歳入として計上してありました財政調整基金や土地開発基金、公共施設整備基金を取り崩すことなく、例年同様に翌年度への繰越額を確保し、健全財政を確保することができました。

令和4年度3月専決補正予算における一般会計の主な事業は次のとおりです。

歳入

目	説明	計上額
地方交付税	普通交付税の確定による増額補正	3億3,603万9千円増
基金繰入金	財政調整基金の取崩しを取り止めたことによる減額補正	△2億2,550万円減
	公共施設整備基金の取崩しを取り止めたことによる減額補正	△1億7,000万円減

歳出

目	節	説明	計上額
情報通信サービス事業費	積立金	情報通信施設等整備基金積立金の増	500万円増
村営バス運行管理費	負担金補助及び交付金	地域路線バス維持対策負担金 千曲バス青木線運賃低減バス負担金事業費 確定による増額補正	268万9千円増
林業振興費	委託料	保全松林健全化整備事業の増	453万2千円増
老人福祉費	負担金補助及び交付金	長野県後期高齢者医療広域連合負担金の事業費確定見込みによる減額補正	△390万円減

令和5年4月専決補正予算（令和5年4月5日付専決処分）の概要について

一般会計 第1号専決補正予算は、歳入歳出それぞれ5,466万9千円を追加し、総額を29億4,166万9千円としてお願いするものです。

早急な対応を必要としたため、専決させていただきました。

令和5年4月専決補正予算における一般会計の主な事業は次のとおりです。

歳入

目	説明	計上額
衛生費国庫負担金	新型コロナワクチン接種体制確保事業負担金	1,280万4千円増
総務費国庫補助金	地方創生臨時交付金（低所得世帯支援分・推奨事業メニュー分）の増額補正	4,533万7千円増

民生費国庫補助金	子育て世帯生活支援特別給付金事業補助金の増額補正	330万円増
衛生費国庫補助金	新型コロナワクチン接種体制確保事業補助金	496万7千円増

歳出

目	節	説明	計上額
地方創生臨時交付金事業費	報償費	生活応援券配布事業 @3,000円×4,250人	1,275万円増
	負担金補助及び交付金	保育園、小・中学校給食費無償化事業に係る給食費値上分	188万6千円増
子育て世帯生活支援特別給付金給付事業費	負担金補助及び交付金	低所得子育て世帯生活支援特別給付金 @50,000円×50人（子の人数）	250万円増
価格高騰重点支援金	負担金補助及び交付金	価格高騰重点支援金 住民税非課税世帯 @30,000円×460世帯	1,380万円増
新型コロナウイルス予防接種事業費	委託料	接種事業委託料 春・秋 計2回	1,280万4千円増

以上、専決補正予算の内容を説明させていただきました。

令和5年度6月補正予算の概要について

一般会計 第2号補正予算は、歳入歳出それぞれ5,058万5千円を追加し、総額を29億9,225万4千円としてお願いするものです。

令和5年度6月補正予算における一般会計の主な事業は次のとおりです。

歳入

目	説明	計上額
民生費寄付金	名誉村民 故 宮原 毅氏のご遺志により	100万円増
基金繰入金	公共施設整備基金より繰入金	2,800万円増

	五島慶太翁顕彰事業基金より繰入金	45万1千円増
前年度繰越金	前年度繰越金を増額補正	657万6千円増
雑入	市町村振興協会地域活動助成事業助成金 (地域防災組織育成助成事業)	100万円増
緊急防災・減災事業債	下奈良本区消防庫新設工事費用へ	400万円増

歳出

目	節	説明	計上額
一般管理費	報償費	五島慶太翁 名誉村民推挙に係る経費を計上	45万1千円増
〃	負担金補助 及び交付金	名誉村民 故 宮原 毅氏 村民葬費用負担金を 計上	162万8千円増
社会福祉総務費	積立金	(名誉村民 故 宮原 毅氏のご遺志により) 福祉事業基金へ	100万円増
観光費	負担金補助 及び交付金	田沢ふれあい温泉センター (有乳湯) 補助金 (源泉井戸カメラ調査、券売機更新)	135万5千円増
道路新設改良費	工事請負費	村道 当郷国道北5号線 舗装修繕工事	2,800万円増
消防施設費	〃	下奈良本区消防庫新設工事	400万円増
教育指導費	負担金補助 及び交付金	英語検定受験料補助金 @5,000円×60名分	30万円増
文化財保護費	〃	大法寺三重塔防災施設整備事業補助金	23万2千円増

以上、補正予算の内容を説明させていただきました。

詳細につきましては、教育長、担当課長からご説明致しますので、ご審議の上、ご議決いただきますようお願い申し上げます。